

県南広域振興局長

提出者 花巻温泉株式会社  
住所 〒025-00304 岩手県花巻市湯本第1地割125番地  
氏名 取締役社長 田辺 利也

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

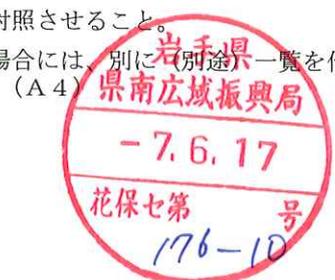
主たる工場又は事業場の名称	花巻温泉株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県花巻市湯本第1地割125番地	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	4,247 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に(別途)一覧を作成の上、添付してください。





別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( )年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量							
	数値 A	単位	数値 B	単位	数値 C	単位				
原油(コンデンセートを除く)		kL								
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL								
揮発油(ガソリン)		kL								
ナフサ		kL								
ジェット燃料		kL								
灯油	0.69	kL	25			25	2	3	-1	
軽油		kL								
A重油	1,961.60	kL	76,306			76,306	5,400	5,398	2	
B・C重油		kL								
石油アスファルト		t								
石油コークス		t								
石油ガス	162.12	t	8,122			8,122	485	362	123	
液化石油ガス(LPG)		t								
石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>								
液化天然ガス(LNG)		t								
その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>								
石炭										
原料炭		t								
輸入原料炭		t								
吹込用原料炭		t								
一般炭		t								
輸入一般炭		t								
国産一般炭		t								
輸入無煙炭		t								
石炭コークス		t								
コールタール		t								
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>								
高炉ガス		千m <sup>3</sup>								
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>								
転炉ガス		千m <sup>3</sup>								
都市ガス		千m <sup>3</sup>								
その他の燃料										
黒液		t								
木材		t								
木質廃材		t								
バイオエタノール		kL								
バイオディーゼル		kL								
バイオガス		千m <sup>3</sup>								
その他バイオマス		t								
RDF		t								
RPF		t								
廃タイヤ		t								
廃プラスチック(一般廃棄物)		t								
廃プラスチック(産業廃棄物)		t								
廃油		kL								
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>								
混合廃材		t								
水素		t								
アンモニア		t								
その他燃料										
小計①							84,454	5,887	5,763	124
産業用蒸気		GJ								
産業用以外の蒸気		GJ								
温水		GJ								
冷水		GJ								
地熱		GJ								
温泉熱		GJ								
太陽熱		GJ								
雪氷熱		GJ								
小計②										
電気事業者①	9,278.54	千kWh	80,167			80,167	3,730	4,474	-744	
電気事業者②(※重複契約している場合使用 自己託送(非燃料由来を除く))		千kWh								
自家発電		千kWh								
太陽光		千kWh								
水力		千kWh								
風力		千kWh								
その他		千kWh								
小計③							80,167	3,730	4,474	-744
合計①=①+②+③							164,620	9,617	10,237	-620

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	4,247	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	9,617 t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
合計	9,617 t-CO <sub>2</sub>

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

## 別紙 その2

### 1 地球温暖化対策計画の達成状況

#### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・CO2排出量は計画年(2023年度)から2013年度対比で4.5%の減となり目標値の10%減に大きく近づいた。
- ・エネルギー使用量は露天風呂新設によるガスの使用が増大した為、前年比0.7%の増となり目標未達成となった。

#### 【具体的な取組状況】

##### ○省エネルギー

###### ①電気

- ・省エネルギー推進委員会を月に1回実施しエネルギー使用量の把握や空調設定温度緩和の啓発活動を行った。
- また、照明不要時消灯及び間引き点灯の徹底、空調立上時間・停止時間の短縮等を継続して行っている。
- ・客室テレビ、厨房冷凍冷蔵庫、非常誘導灯、ポンプ等を省エネ機器へ更新し新旧機器対比で約2～40%の節電となった。

###### ②重油

- ・館内空調の設定温度を外気温に合わせ細目に変更し重油使用量の低減を図った。
- ・ホテル花巻厨房の空調機器を更新し、熱源を重油から電化した事により新旧機器対比で約32%のCO2排出を削減した。

###### ③灯油

- ・佳松園赤松やベーカリーの灯油暖房機をエアコンに更新し灯油の全体使用量を4%削減した。

###### ④LPG

- ・ホテル紅葉館厨房のGHPを高効率の機器に更新し新旧機器対比で約20%の使用量削減をするも露天風呂新設によるガス使用が増加した為、全体の使用量が17%増となった。
- ・ホテル花巻・紅葉館のガスボンベをバルクタンク化し配送合理化としての間接的な省エネとなった。

###### ⑤その他

- ・1月14日～1月20日の7日間で全館休館を行いエネルギー使用量が1日稼働比較で約40%の削減となった。

##### ○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

- ・太陽光発電やバイオマス発電の導入計画に於いてコストや効率等、多角的に調査している。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

### 2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・瓶、缶、ペットボトル等の分別を徹底しリサイクル資源の回収に尽力した。
- ・佳松園にて排湯を熱交換し給湯使用エネルギーの緩和を行っている。また、冬季は温泉排湯で融雪を行いエネルギーの効率化や再利用を行っている。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	( )	ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
軽油	( )	ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気		kWh	0.402 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	0 ( 0 )			kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項